



6月3日(土)新潟グランドホテルにおいて、2023年度校友会新潟県支部総会および懇親会が行われ、総会83名、懇親会82名の参加がありました。

当日はご来賓として、学校法人明治大学監事・高岡香様、明治大学校友会筆頭副会長・徳丸平太郎様、明治大学新潟県父母会会長・安沢浩樹様、同副会長・宮崎邦夫様よりご臨席を賜りました。

開会に先立ち、この一年に物故された10名の校友に黙とうを捧げました。新潟地域支部長・神林裕氏(昭50政経)による開会の辞、新潟県支部長・高橋淑浩氏(昭49商)の挨拶に続き、ご来賓の高岡様、徳丸様、安沢様より祝辞を頂戴しました。

この後、高橋支部長を議長に選出し議案審議に入りました。第1号議案として支部幹事長・鬼嶋一之氏(昭53政経)による2022年度事業報告、第2号議案として支部会計幹事・宇尾野隆氏(昭57年商)による2022年度収支決算報告、支部監査委員・飯沼克英氏(昭52法)による2022年度会計監査報告が行われ、いずれも承認されました。引続き、鬼嶋氏より第3号議案2023年度活動計画案の説明、宇尾野氏より第4号議案2023年度収支予算案の説明があり、これも承認されました。第5号議案の支部役員選任では、支部会計幹事・宇尾野氏が退任し、長谷川涼子氏(平3年法)が新たに選任されました。



議案審議のあと、「娘の入学以来、明治ファンです」という新潟県出身OGのご父兄より、総会開催に当たり寄付をいただいたと、鬼嶋氏よりうれしい報告がありました。

総会をしめくくる校歌は、燕三条地域支部・西澤哲司氏(昭55商)の素晴らしい指揮のもと、三番まで高らかに歌われました。エールの余韻が残る中、上越地域支部長・西脇治雄氏(昭43工)による閉会の辞をもって総会は終了となりました。

総会終了後、臨時県支部役員会が行われました。高橋支部長より「明治大学校友会小千谷地域支部設立」について提案があり、審議の結果、小千谷地域支部を11番目の地域支部として設立することが承認されました。今後、6月17日の(全国)支部長会議で審議され、7月29日開催予定の全国支部長・幹事長合同会議を経て正式発足となります。なお、小千谷地域支部長に酒巻和男氏(昭39工)、同幹事長に渡辺浩行氏(昭60商)、同会計幹事に中町英明氏(平2商)がそれぞれ就任します。





会場を隣に移し、4年ぶりの開催となった懇親会は、須山司氏（Teny/平6法）の司会進行で進められ、たいへん賑やかな会となりました。村上地域支部長・佐藤秀明氏（昭48法）による開会の辞に続き、高岡様より乾杯のご発声をいただきました。この後歓談となり、皆さん大いに旧交を温めている様子でした。



歓談のさなかには、新潟県ラグビーフットボール協会理事・上杉恒彦氏（本学大学院工学部OB）のご挨拶のほか、若手OBOG紹介があり戸邊優貴美氏（平27政経）、大掛翔太氏（平29文）、荒木皓太氏（令2商）、



川上尚子氏（平21農）が登壇しました。戸邊氏は体育会端艇部の出身。今回は受付にも協力してもらいました。また、荒木氏は**大学が令和に入り初めて送り出した卒業生であり**、校友会は令和のOBOGを迎える時代に突入しています。宴も佳境に入り、先の地方選で当選（6期目）した県会議員の大淵健氏（平8農）が挨拶、勇退された先輩・澤野修元県会議員（昭48経営）に労いの言葉を送りました。



そして懇親会の締めもやっぱり明治大学校歌です。本日のリーダーはともに応援團OBの田沢誠氏（昭50工）と大久保勝由氏（昭41法）が務めます。校歌の途中でリーダーが入れ替わる華麗なリレーとなりました。参加者全員がスクラムを組んでの大合唱でクライマックスを迎えました。

大いに盛り上がった一日。燕三条地域支部長・山田眞一氏（昭60商）が閉会の辞を述べ、本日の全日程を終了しました。

ご出席いただいたご来賓・校友の皆様、ありがとうございました。



白雲なびく信濃川... やっぱり明治いいなあ。

帰路、萬代橋から信濃川を眺めるうち「やっぱり明治がNo.1」だなぁとの思いが湧き上がってきました。大河の流れに心が洗われる一日となりました。

（広報杉本 記）